

■下水道事業の概要について

【資料2-2】

下水道は、市民が健康で文化的な生活をするために必要な都市施設で、生活環境の改善と浸水の防除、公共用水域の水質保全といった地球環境における水環境システムの一つとして、大きな役割を果たしています。

湖南市の下水道事業の前身は、旧甲西町で昭和54年度に当初認可を受けて事業に着手し昭和63年度に供用を開始しました。

旧石部町では、昭和60年度に事業に着手、平成4年度に供用開始し合併後の平成20年度には「琵琶湖流域下水道(湖南中部処理区)関連湖南市公共下水道」として区域を統合し、下水道事業整備を進めてきたところであります。

令和6年度末(令和7年3月31日)現在の下水道処理人口普及率は、98.8%で、下水道人口水洗化率は、97.4%となっています。

◇下水の排除方式

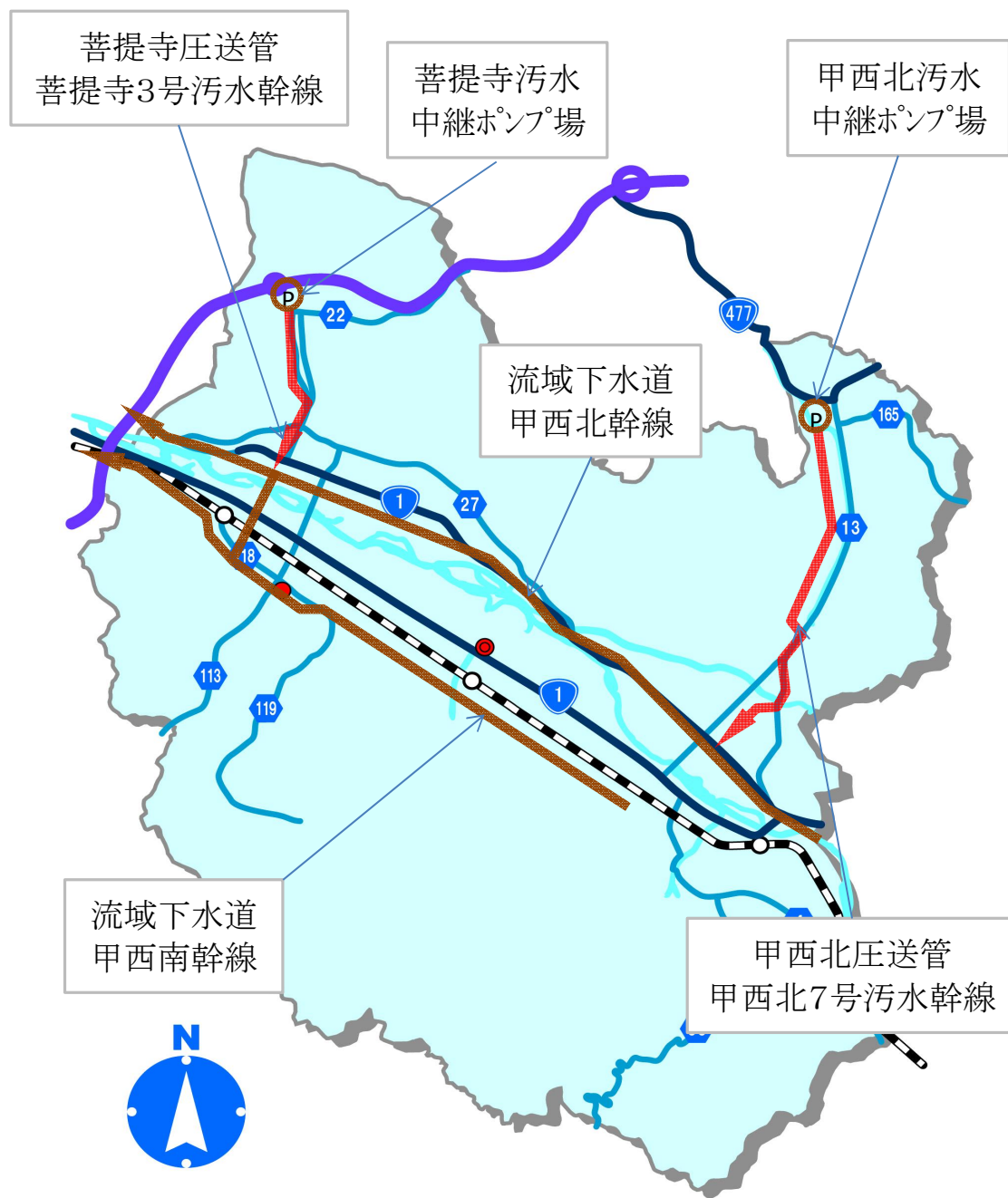
下水(汚水)の排除方式には大別すると2つあり、汚水と雨水を一緒に下水道処理場へ送る合流式下水道に対して、滋賀県が採用している分流式下水道は、汚水用管路と雨水用管路を別々に埋設し、汚水は下水処理場へ、雨水は河川等へ直接放流する方式になります。

◇ 上水道と下水道の関係(水の再利用)

湖南市の水道水の約95%は琵琶湖の水を利用しており、琵琶湖から送られてきた水を殺菌消毒して水道水として使用し、使用後の汚れた水は下水道管を流れ、草津市矢橋の帰帆島(大きな公園や遊具のある人工の島)の処理場できれいな水に処理をされ琵琶湖へ放流されています。

湖南中部処理区幹線管渠およびポンプ場図





◇ 市内の主な下水道施設

(令和6年度末時点)

① 污水管渠	L=319.94km
② マンホールポンプ	N=46箇所
③ 污水中継ポンプ場	N=2箇所
④ 雨水管渠	L=2.680km

◇令和7年度 下水道事業の事業計画について

1. 全体事業費

795,055千円（前年比 107, 639千円増） （当初予算額）

下水道施設の新設、改築に係る事業費（維持管理費を除く）

2. 全体事業費のうち国庫交付金対象事業費

200,000千円

3. 国庫交付金（交付率1/2）

100,000千円

4. 実施予定主要事業の内訳 （全 13 件）

- | | |
|--------------|-----|
| ① 汚水整備（新設）工事 | 3 件 |
| ② 舗装復旧工事 | 2 件 |
| ③ 測量設計業務委託等 | 8 件 |

5. 令和6年度末の下水道処理人口普及率 98.8%

（総人口に占める整備済区域内人口の割合）

令和6年度末の下水道水洗化率 97.4%

（処理区域内の人口に対する整備区域内水洗化人口の割合）

令和 7 年度 下水道事業実施予定 (主要事業)

(工事関係)

番号	工 事 名	場 所	工事概要	工事期間
①	石部口工区管布設工事	石部口	・開削工 ϕ 200 L=114.0m ・マンホールポンプ 一式	8月～3月
②	三雲東工区舗装復旧工事	三雲	・舗装復旧工 A=3,467m ²	7月～11月
③	下水道施設改築更新工事	近江台	・改築更新 ϕ 200 L=835.9m	9月～3月
④	下水道総合地震対策耐震補強工事	全域	・改築更新 ϕ 450 L=179.3m ・管口耐震 N=176箇所	9月～3月
⑤	菩提寺工区他舗装復旧工事	菩提寺・三雲	・舗装復旧工 A=550m ²	10月～1月
	工事 計 5 件			

令和 7 年度 下水道事業実施予定 (主要事業)

(委託関係)

番号	委 託 名	場 所	委託概要	委託期間
⑥	現場技術業務委託	全域	・現場技術管理 一式	6月～3月
⑦	事業計画変更策定業務委託	全域	・事業計画変更 一式	7月～3月
⑧	下水道施設点検調査業務委託	全域	・マンホール目視調査工 N=14基 ・本管テレビカメラ調査工 L=717.0m	10月～3月
⑨	甲西北汚水中継ポンプ場改修設計業務委託	日枝町	・ポンプ場改修設計 一式	9月～3月
⑩	三雲東(天保閣)工区設計業務委託	三雲	・管渠設計(開削 L=298m)	9月～3月
⑪	甲西北ポンプ場硫化水素対策設計業務委託	日枝町	・硫化水素対策設計 一式	9月～3月
⑫	ウォーターPPP導入可能性調査業務委託	全域	・導入可能性調査 一式	8月～3月
⑬	雨水出水浸水想定区域図作成業務委託	全域	・区域図作成業務 一式	9月～3月
	委託 計 8 件			

令和7年度 下水道事業 建設改良費(主要事業) 位置図

